

日本の伝統芸能に学ぶ事業

取組に至る背景・事業の目的

教育行政の進展に向け、飯水岳北地域の市村教育長が定期的に情報交換を行い地域教育の向上に努めているところだが、中でも伝統や文化に関する教育の充実について、質の高い伝統芸能に触れることにより子ども達の興味を引き出し、更には郷土愛を育むものとして取り組んできた。

事業内容

- 尺八と琴を通じた伝統・文化教育
 - ・邦楽アンサンブルコンサートの実施（「尺八」と「琴」の生演奏を聴き、実際に尺八を体験するワークショップも行い伝統音楽を学んだ）
 - ・実施校 木島平小学校（参加数 129 名）
野沢温泉中学校及び小学校 6 年生（参加数 127 名）
栄中学校（参加数 46 名）
飯山市城南中学校（参加数 367 名）
飯山市城北中学校（参加数 279 名）



【尺八体験の様子】

- 能を通じた伝統・文化教育
 - ・人間国宝 宝生流シテ方佐野登氏による能楽ワークショップの実施（能楽師・佐野登氏による「能」の稽古や技の継承等の実体験を聞き、伝統芸能を学んだ）
 - ・実施校など 栄村保育園、小・中学校（参加数 178 名）
野沢温泉保育園、小・中学校（参加数 317 名）
木島平村保育園、小・中学校（参加数 532 名）
飯山市城南、城北中学校（参加数 646 名）

事業効果

- 尺八、琴の演奏を聴くことにより、日本の伝統芸能への興味を引き出すことができた。また、実際に練習用の尺八を使い音を出す体験をすることで、興味を更に深めることができた。
- なかなか触れる機会がない「能」について、人間国宝によるワークショップにおいて「人の話を聴くことの大切さ」「親孝行の心、感謝の心、誠の心、正直な心、忠の心の大切さ」等を学ぶことができ、実際の学校生活においても挨拶の励行、学校生活での落ち着きが見られるようになった。

工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 平成 25 年度に野沢温泉村で行われた「能」と「尺八」「琴」の鑑賞及びワークショップにより生徒の生活態度の向上等が見られたことから、岳北地域での実施につながった。
- 練習用に購入した尺八は音楽の授業で積極的に取り入れるなど、活用を図っていく。

【選定のポイント】
伝統芸能や音楽を鑑賞するだけでなく体験することにより伝統文化を身近に感じ、興味を深めた。また、「能」のワークショップは「礼をつくす心」等の大切さを学ぶ機会となり、子ども達の成長につながる事業として期待がもてる。

| | |
|---|-------------------|
| 団体名 飯水岳北地区教育長会（野沢温泉村） （事務局）野沢温泉村教育委員会事務局 | 事業タイプ ソフト事業 |
| 連絡先 0269-85-3115 | 事業費 1, 797, 604円 |
| | 支援金額 1, 126, 000円 |